

令和4年度 第1回 神戸中学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年5月20日（金）18:00～19:30

2 場 所 神戸中学校会議室

3 出席者 委員：是枝徳義，兼丸良政，林佳代子，阿部雅登，白塚山隆彦，
平子正人，河北瑞希，北村 武，高山 剛，木村元彦（学校長）
教育委員会：杉谷直俊（教育支援課）
学校教職員：市川泰（教頭），樋口智己（教頭），
森下有紀（1年主任）中山かほり（2年主任）

4 あいさつ（学校長）

新型コロナウイルス感染症の高止まり状況がみられるが，教育活動を止めないとの方針の下，修学旅行も当初の予定どおりの日程で無事に終えることができた。

本年度の学校運営協議会は，新たに3名の方に委員として加わっていただき，引き続き学校の教育課題改善に活発で気さくな協議を行っていきたいと考えており，一層の学校運営協議会委員の皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

5 令和3年度神戸中学校学校運営協議会について

出席者自己紹介の後，各委員に任命書を手交する。

その後，鈴鹿市立神戸中学校運営協議会設置要綱を確認し，要綱に基づき委員長を是枝徳義委員，副委員長を兼丸良政委員とすることを確認する。

委員長からは，本年度は中学校区での協議会の活性化を目標に掲げていることが伝えられ，副委員長からは，地域と学校とのパイプ役になっていきたい考えが伝えられる。また，令和4年度学校運営協議会開催日程等を確認する。

6 令和4年度の学校経営について

(1) 学校経営の改革方針について

学校長から，令和4年度学校経営の改革方針を説明し，委員の承認を得る。

(委員からの意見等)

・みえスタディ・チェックの示し方について，どのように考えているのか。

(学校長) みえスタディ・チェックや全国学力・学習状況調査は，学力のある一面をとらえるものである。そのため，平均正答率を示すことで単に国，県，市との比較を明らかにすることではなく，各問題の解答状況に目を向け，生徒の課題やつまずきなどを明らかにすることで改善策を講じていくために活用していきたいと考えている。

・学校と地域との連携において，家庭学習については連携して取り組んでいく方針を示しているのとらえて良いか。

(学校長) その通りで，家庭学習については学校運営協議会での協議も踏まえながら保護者との連携を図っていききたいと考えている。

(2) 学校配当予算について

学校長から、令和4年度学校配当予算について説明し、委員の理解を得る。

(委員からの意見等)

- ・予算が計上されていない科目には、どのように対応するのか。

(学校長) 年間に1回、予算の組み換えを行うことができる。これまでの状況から予算を計上していないが、必要な事態が生じた場合は、予算の組み換えで対応したいと考えている。

(3) 台風時等における登下校又は授業の実施について

(4) 通学路危険監視モニターについて

学校長から、台風時等における登下校又は授業の実施及び通学路危険監視モニターについて一括して説明し、対応について委員との共通理解を図るとともに委員には、通学路危険監視モニターを担っていただくことのできることを了承を得る。

(委員からの意見等)

- ・神戸中学校としては、鈴鹿川の増水時に注意する必要がある。
- ・神戸中学校は地盤が低いことから、鈴鹿川が決壊すると浸水被害にあうことが考えられている。
- ・警報が発出されると保護者は心配になるので、必要な周知をお願いしたい。

(5) 学校での新型コロナウイルス感染症への感染予防対策について

学校長から、1学期当初に保護者へ周知した内容について説明する。また、今後とも教育委員会からの通知に基づき対応していく考えを説明し理解を得る。

(委員からの意見等)

- ・マスク着用の場面が話題になっているが、どのように対応するのか。

(学校長) 文部科学省の通知等に基づき、体育の実技や部活動ではマスクを外すようにしている。また、登下校時にマスクを外すことも問題としてはおらず、熱中症も考えながら対応している。

(6) 主な学校行事等について

学校長から、主な年間予定について説明する。また、体育祭や文化祭についても実施の方針で日程を検討していることを説明し、委員の理解を得る。

(7) 校区学校運営協議会全体会について

学校長から、校区学校運営協議会委員全員による全体会開催内容等について説明する。当日のグループワーク割り振りについては、委員長一任で了承を得る。

(委員からの意見等)

- ・子どもの健康についてのグループの話し合いは、どのような内容が予定されているのか。

(学校長) 基本的な生活習慣や心身の健康状態などの現状について意見交換を予定している。

7 学校や生徒の様子について

学校長から学校通信や日々の学習活動の様子などを説明するとともに各学年主任から現状について報告する。

特に、集団学習、社会見学、修学旅行などでの生徒の頑張りや、中学生らしさや上級生としての心構えが生まれてきたこと、2・3年生数学科で習熟度別学習を実施し学力向上に取り組んでいること、2年生では職場体験学習を実施予定と考えていること、学習面での力を伸ばしてほしいと考えていることなどについて説明する。

(委員からの意見等)

- ・自転車置き場で集団学習が楽しかったといった声を聞いている。
- ・1年生は、男女の仲の良い雰囲気が伝わってきている。
- ・2年生では、2年生になったという成長が感じられている。
- ・コロナ禍にあって、学習の遅れなどの心配は生まれていないか。

(学校長) 家庭に学習プリントを配布したり、電話連絡を行ったり、登校後に支援をする時間を設けたり、場合によってはオンラインを活用して対応している。

- ・職場体験では、以前に他の中学校との日程の重なりがあったが、どのような予定になっているのか。

(2年生主任) 一部の中学校で日程の重なりが心配されている。事業所もコロナ禍で受け入れていただけない所もあり、新たな開拓が求められているので、ぜひ事業所開拓への御協力をいただければと考えている。

- ・受け入れていただける事業所について、学校に連絡させていただくよう協力していきたい。
- ・市役所も毎年受け入れているので依頼してみてもどうか。

8 協議 (地域による学校支援について)

- ・学習支援については、外国人の日本語学習に国際交流協会が取り組んでいるので、中学生の受け入れの可能性について確認してはどうか。
- ・学習支援では、以前に宿題お助け隊の取組もしていた。教育実習生や教員OBに呼びかけていた。
- ・募集するだけでは、学校支援ボランティアは集まらないので、学校運営協議会委員が働きかけたり、声掛けを行ったりしていくことが必要ではないか。
- ・声掛けの仕方でも集まり方も変わってくると思う。
- ・ボランティアも有償か無償かで違ってくる。有償の活動に参加してしまうことが多いので、取組内容の敷居を低くしていくことも考えていく必要があるだろう。
- ・公民館の活動と関連させることはできないだろうか。

8 その他

- ・第2回学校運営協議会を令和4年6月29日(水)15時00分から、生徒会役員との意見交換を内容として実施することを確認する。